

あけましておめでとうございます。

平成 25 年もブレイングループクオリティーを意識しながらの業務を行いましょう

ブレイングループクオリティーは、どこでも通用する人財になることです。

好きになる by 松下幸之助

新入社員から幹部社員まで、体験を通じて私なりに大切に考える心得について、すべての社員が共通し、一番大切なことを述べたいと思います。といっても、それは特別なことではありません。むしろきわめて平凡で、“なんだ、そんなことか”と思われるようなことですが、ひと言でいえば、自分の仕事を心底、好きになる、ということです。仕事というのは、“会社から命じられたし、自分は社員であるからやらざるを得ないんだ”というようなことでは、いい仕事はとうていできません。仕事を進めていく過程では、“はた”の人が見たら辛いだろうなあ、気の毒だと思う場合も、しばしばあると思います。仕事のことがいろいろと気になって、夜も眠れない。それで家族が心配するということもあるかもしれないし、友人に「おまえ、そんなに苦しんで、いったいどうなっているんだ。大丈夫か」と言われることもあるかもしれません。しかし、“はた”目にはそういう状態であっても、自分自身として少しも苦痛ではない。仕事のことを考えることが、面白くて面白くてしょうがないんだ、というようなことが考えられるかどうかということです。というのは、社員としての生活、特に責任のある立場に立ち、何人も部下をもって仕事をするというようになれば、なかには自分の思うように動いてくれない部下も出てきます。いちいち理屈を言う人もあるし、誤解する人もあるし、なかなか自分を意を素直にくんでくれないという場合が生じてくる。そんなとき、人間であればだれでも、“かなわんなあ” “困ったなあ” “わずらわしいなあ”と思います。しかし、そう思っても、その一方でまた、“なんとか誤解をなくしてあの人たちを立派に育てよう、協力してもらえるようにしよう” “と思い直し、みずからを慰めるということが必要です。そうでないと仕事の成功は望めないと思います。そして、そうした思い直し、気分の切り替えができるかどうか、それが私は、その人が仕事が好きかどうかにかかっていると思うのです。好きであれば、それがそれほど苦もなくできます。一時的には、“わずらわしい、困ったな” “と思っても、つぎの瞬間には” “その苦勞を乗り越えることが面白いんだ” “ということにかえて勇気が湧いてきます。しかし、嫌だとそうはいきません。嫌な人は、それがだんだんその苦しさがつのってきて、頭が痛くなってくる。そして” “もう自分の仕事から逃げたいなあ” “といったことになってくるのです。それでは、仕事を全うすることはできません。こうしたことは、会社の仕事に限りません。私は、お互いが会社生活を送るにあたっては、何といても仕事なり経営なりのコツをつかむことが大切だと思います。コツをつかんでいないと、どんなに一緒に懸命にことにあたってても、” “労多くして功少なし” “になってしまいます。そして、この仕事なり経営のコツというものは、人から教えられて身につくというもではなく、自分で体得するというか、悟らなければならないものだと思います。しかし、それができるのもやはり、その人が仕事が好きな場合だと思います。嫌いでイヤイヤやったのでは、苦しみや不満ばかりが残って、コツをつかめない。私は仕事なり人間というもの、だいたいそんなものではないかと思っています。そのようなことを考えてみますと、社員の心得として大事なことはいろいろあるけれども、その基本となるのは、やはりこの、自分の仕事を好きになるということではないかという気がします。ですから、自分は仕事が好きかどうかということを決えず、自問自答しつつ、仕事が好きになれるように努めていきたい。そして、自分の娯樂をやめる必要はないけれども、3つの娯樂は、2つにとどめて、仕事に面白みを見出し、味わうということができれば、私はその人は、社員として必ず成功するでしょうし、仕事によって非常に救われる人であると思います。

社員の心得として大事なことがいろいろあるけどその基本は何ですか？

(

)